

火山被害のトンガに着火剤

エムアイエス・猪飼社長 自ら開発、寄贈

段ボールを材料に開発した着火剤をトンガに寄贈した猪飼さん。あま市七宝町のエムアイエスで



ールが返ってきた。

着火剤は三月上旬にも寄贈し、計八百枚が四月にも現地に届けられるという。合わせて、この製品を購入すると、同じ量を被災地に寄贈するチャリティー販売も始めた。

猪飼さんは「まだ八万人が避難生活を送っていると聞いている。火を通した安全な食べ物で復興を進めてほしい」と話す。☎同社〓052(449)5700 (吉田幸雄)

海底火山の噴火で被害を受けたトンガを支援しようと、モータースポーツの車両メンテナンスなどを手掛ける「エムアイエス」(あま市七宝町)社長の猪飼宏泰さん(四〇)が、自ら開発した組み立て式着火剤を同国に寄贈した。

猪飼さんは、ラグビーが盛んなことや、冬季五輪で見た民族衣装の選手らが印象的で、トンガに親しみを持っていた。一月に噴火が起きると、「自分の作ったもので何か役に立てないか」と考えた。

避難生活で役立つだろうと、同社の着火剤を送ることにした。段ボールを材料に開発した「着火巻」という製品で、B5サイズの段ボールにミシン目が入り、簡単に切り離して使うことができる。東京の大使館に届けると、感謝を伝えるメ

コロナ情報

11日

【一宮市】園児2人が感染した浅野保育園を臨時休園。15日までを予定。

【津島市】市内の小学校2校で複数の感染者が判明。1校の1学年を12、14日に閉鎖、もう1校の1学級を14、15日に閉鎖する。

【清須市】複数の感染者が確認された市立小学校1校の2学級と、市立中学校1校の1学級を12、14日に閉鎖する。